

<本年度活動方針>

- ・ボランティアの増員を目指す
- ・健康づくり、福祉活動など
- ・各自治会の社協活動の支援
- ・福祉関係団体への協力・交流
- ・ボランティアセンター活動



発行日 2024年10月1日
 発行者 湘北地区社会福祉協議会
 会長 澄川 篤
 発行部数 9,500部
 編集 広報委員会 深栖 健男

特集 地域の力を結束、各地区の夏まつり

甘沼納涼盆踊り、みずきの夏まつり



今年の夏も厳しい暑さが続く毎日となりました。湘北の各地区では、コロナ禍で失われた夏まつりの活気を取り戻すべく、夏まつり復活2年目の開催に尽力を尽くしました。一部の自治会では実行委員のノウハウ継承ができなくなったことと、担い手不足により夏まつりの開催を断念してしまいましたが、まだまだ開催を継続している自治会も残っているので、まつり開催の地域力を絶やさないように、地域全体で応援、協力していきたいものです。今回は甘沼の盆踊りと、みずきの夏まつりを紹介します。

甘沼では8月11日、自治会主催の納涼盆踊り大会が北根公園で行われました。社協所有の機器で作ったポップコーンと綿菓子が無料で提供され、自治会からアイスも配られ子どもたちは大喜びでした。この催しの運営にご尽力下さったスタッフの皆さんに感謝しています。子どもたちの元気な様子に大人たちも満足。浴衣を着せてもらってはしゃいで走り回る甘沼っ子たちも楽しそうでした。次の世代に継承される貴重な活動として、地域に暮す皆さんも自治会の営みに確かな手ごたえを感じていらっしゃるのだと確信しています。



みずきでは8月24日、25日、夏まつりが開催されました。毎年、まつりのオープニングを飾るのは北陽中学校の吹奏楽部のみなさんです。照り付ける太陽、緑いっぱいのせせらぎ公園と、その横を流れる駒寄川のキラキラした川の流れをバックに、吹奏楽の元気な楽曲が響き渡ります。みずき夏まつり、スタートを伝える名物の演奏となっています。今年はこの名物の演奏に、鶴が台中学校の吹奏楽部のみなさんが

加わり、夏まつり2日間それぞれのオープニングを飾っていただきました。

中高校生のボランティアもみずきでは恒例となり、自治会の声掛けに集まった、中学生2名、高校生2名が、まつりの準備、ステージ、花火大会、片づけと、大人顔負けに活躍していました。自発的に地域に貢献する心が育まれていくことで、次世代の地域活動に繋がれると期待しています。



湘北地区社協活動紹介



▶ 鶴が台すこやかサロン

可愛い保育園児たちと「すこやかサロン七夕のつどい」7月4日団地集会所の大会議室は鮮やかな七夕飾りの若竹二本が飾られ、参加された方々は短冊に「平和」「健康」等の願いを書きました。お昼寝を終えた鶴が台保育園の可愛い園児たちが来て「笹の葉サラサラ♪」等を歌い、子ども達は練習した「お化け音頭」を披露。お別れに参加者全員が可愛い手と握手をしていっぱい笑顔でした。



▶ みずきオープンハウス

みずきで新しい取り組みを始めました！
みずきコミュニティハウス（自治会館）を一般開放しました。みずきではコロナによりサロンは2つ減り、子ども会もなくなり、行き場のない子どもや高齢者が増えてきています。地域の交流の場として今年度は試験的に平日、土曜日、日曜日と3回開催する予定です。第一回目の8月28日はスタッフ合わせて17名の方がt集まりました。中学生から高齢者までがお話や麻雀などを楽しみました。今年度の最終回は2024年12月1日（日）です。



分科会活動内容紹介

▶ 地域福祉を考える懇談会

今年度の懇談会は昨年までの地域ボランティアの発掘は継続しつつも、高齢者が抱える課題の情報共有からスタートしました。第一回の懇談会は9月11日に開催され、民生委員さんによる3年に一回の高齢者実態調査から浮き彫りになる、生々しい課題の報告を共有しました。民政委員さんだけでは解決できない課題が多く含まれていることがわかりました。具体的な困りごとの例です。

- ・ 高齢になって、ちょっとした買い物や病院に行くのが大変になってしまった。
- ・ 資金的な問題で適切な介護サービスを受けることができない。
- ・ 介護認定を受けて各種福祉サービスを受けた方がいいと勧めるが、ご本人が申請を拒んでしまう。
- ・ 話し相手がいない。近くにサロンなどの居場所がない。

など、共通課題を参加者一同で確認しました。

また、この懇談会から提案された「みんなのまつり」を2025年3月20日（祝）に今年度も開催予定ですので、みなさん、ご都合をつけてご参加ください。



▶ セカンドライフを楽しむ会

セカンドライフを楽しむ会では、「セカンドライフにボランティア活動を」という事でボランティアについて、ウォーキングやゲームをしながら考えたいと思います。

詳細は、回覧にてご確認お願い致します。皆様の参加をお願いします。



▶ 健康福祉講座

本年度の健康福祉講座は、11月17日(日)に幼児向け講座『0歳～みんなで楽しくリトミック♪』を開催予定です。

リトミックとは、音楽に合わせて体を動かし、表現力を養う音楽教育法で、近年、子供のみならず高齢者向けとしても注目を集めています。

決まった動きはなく、音楽に合わせて自由に体を動かして表現することが特徴です。

講師は、リトミック POCO 音楽教室の鈴木先生をお招きし、0歳～3歳向けの教室を開催致します。

♪開催日時・場所

日時：2024年11月17日(日)
9:40～11:30 2クラス制(下記参照)

場所：香川公民館 1F 講義室

参加費：無料

- *おむつ替え・授乳場所は1F保育室をご利用ください。
- *各クラス20分前より入口にて受付いたします。
- *駐車場は限られた台数のみとなりますので、自転車が徒歩でのご来場、および必ず保護者同伴にてご来場をお願いします。
- *飲み物等は各自でご持参願います。
- *当日は広報用に撮影を行いますので、あらかじめご了承願います。

♪開催クラス

- | | | |
|---|-------|-------|
| ① 9:40～10:20 (40分) 1歳半～3歳クラス | 定員20名 | 申込先着制 |
| ② 10:50～11:30 (40分) 0歳(お首が据わった頃)～1歳半クラス | 定員20名 | 申込先着制 |



←申し込みはこちら
10月15日 0:00 申し込み開始

リトミック POCO 音楽教室
鈴木真紀 様

日程と内容	
10月12日(土)	9時～12時 雨天時は10月19日(土)に延期
9時	ボランティアセンター集合
9時10分	ボランティアセンター出発
ウォーキング	北根公園(旧 甘沼樹木センター)まで (往復 約2km 40分) *服装は長袖、長ズボン、飲み物の用意をお願いします。
9時30分	北根公園着 休憩 ラジオ体操・ベタンク・魚釣りゲーム・ネーチャーゲーム お話し「ボランティア活動について」
11時30分	北根公園出発
11時50分	ボランティアセンター着
12時	終了
会場	北根公園(旧 甘沼樹木センター)とボランティアセンター
募集人数	15名
申込期間	9月9日(月)～9月26日(木) *申し込みの電話は、月・木曜日の10時～12時、 それ以外はファックスをご利用ください。 申込時に氏名・住所・電話番号・年齢をお知らせ下さい。

▶ 公民館まつり

今年度の公民館祭りは2025年3月1日(土)、2日(日)日程での開催が決まりました。湘北社協は今年度も恒例の綿菓子を中心にバザーを行います。

9月29日(日)に第一回の担当者会議を行い、多くの皆様に喜んで頂ける様に企画準備を進めております。

公民館祭りは他の地域団体のバザー、展示、発表などもありますので多くの皆様のご参加をお待ち致しております

今年度の公民館まつりのテーマ

ちいき輝け★みんな輝け★まつりで輝け



湘北地区社会福祉協議会 ～地域格差について～ 澄川会長



ピアノなどの習い事を体験し、旅行に出かけ、スポーツや観劇なども希望すれば叶えられる恵まれた子と、経済的理由から体験できない子どもがいます。体験格差は存在します。

夏祭りや盆踊りなどの行事も体験できる地域と、行事そのものがないので体験できない地域があります。子ども会のない地域もあります。地域の衰退による体験格差です。皆さんは自分たちの努力で解決できる格差を、どうお考えですか？

忙しすぎる現役世代に何もかも任せるのではなく、時間に余裕のある4～5人が声をあげれば地域格差は解消できます。せめて子どもたちには、地域格差のない活発な自治会・地域に生活してもらいたいものだと願っています。



湘北地区社会福祉協議会会長

澄川 篤

湘北地区ボランティアセンターだより

ボランティアセンターにシンボルが2つできました。1つは、プレンティーズさんに提供していただき、香川学童クラブさんと作ったベンチ。2つめは、鶴が台中学校の美術部のみなさんが作ってくださった大きな看板。ボランティアの精神を見事に表しています。地域の方々の目に触れることでボランティアセンターの認知度が高まると思います。「ちょっとしたお困り事があつたら」お電話を。開いている時は、いつでも、気軽に立ち寄れるボランティアセンターにしていきたいと思っています。



ボランティアセンターの看板と
鶴が台中学校の美術部のみなさん

ボランティアセンター ☎0467-27-2030

湘北地区社会福祉
協議会のホームペ
ージをご覧ください。



<広報誌のアンケート>
広報湘北へアンケートを
お寄せください。



締め切り 10月31日

編集後記

今年の夏も連日猛暑日が続き、外に出るのをためらう暑さでした。そんな暑い夏でも各地域で真夏の行事が開催され、地域交流が盛んに行われているのが取材をしていて、印象的でした。